

# TUNAGARI Magazine Kizuna

金沢星稜大学同窓会誌

2007/8  
Vol.18

同窓会会員  
現在  
14,502名

平成19年度 方針スローガン

「母校愛で繋がりの輪を広げ、

英知の“絆”を築こう」

金沢星稜大学同窓会会長

鳥居 茂

会長ブログ毎月更新中  
 金沢星稜大学同窓会 会長日記  
 KYO mo TSUNAGARI  
 BLOG Kizuna

建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」は学園、大学の永遠のテーマです。学生時代その意味が漠然としか分からず、社会にでていろいろな経験を積み心と体、両方で解るようになり、やがて建学の精神を手がかりに自分のモットーは謙虚さ素直さをベースに、人のこころと体を永遠に練磨していくこと。言葉を換えれば「service」の気持ちをベースに、徳、礼を柱に器量を建てていく。それで人間力が備わり周りの人をその気にさせていく…。

リーダーを目指し続けるのであるのなら、この力がなくてはならないと思います。理念は、時間を掛けて人の心と体に染みわたるものです。その理念の下、今年本学は開学40年を迎え14,500人の卒業生を社会に送り出しました。新たに巣立とうとしている同窓生、友の繋がりを

の輪を広げ、異業種交流の場としてそのビジネスが生まれるきっかけとなるよう大いに交流し、ご自分と相手の利益を増やす機会を見つけたいと思っております。そのために表紙のスローガンの下、以下4項目を今年度の基軸とします。

- ① 事業計画
- ② 組織の活性化
- ③ 支部組織の活発化
- ④ 仕組み

を、5カ年計画、中期活動計画とします。母校あつこの同窓会です。本学発展と同窓会の結束のため建学の精神を遵守しこの思いを抱く同胞の絆を築いていきたいと思っております。

金沢星稜大学同窓会サイト  
<http://kizuna.seiryu-u.ac.jp/>



会議、ご宴会、ウェディングのご相談承ります

お問い合わせは「宴会予約係」まで TEL 076-231-3912



金沢 エクセルホテル東急

〒920-0961 金沢市香林坊2-1-1  
 Tel. 076-231-2411 Fax. 076-263-0154

<http://www.kanazawa-e.tokyuhotels.co.jp>

## 関東支部総会 報告

去る5月18日(金)午後6時、東京、銀座5丁目の中華料理店、蘭苑菜館にて関東支部総会が開催されました。笹山孝治(S46年卒・第一期)、勝木洋介(S46年卒・第一期)、井川宏和(S58年卒)、三田雅(H77年卒)と、本会より鳥居会長、園部事務局次長が参加しました。

園部事務局次長を進行役に、各自自己紹介の後、大学の近況報告・関東支部の役員、規約について・関東支部の総会の時期などを話しあい、勝木支部長、笹山相談役を基軸とし井川氏、三田氏両名を幹事として今秋に総会予定を目指し同窓会への奉仕の精神を語り合い、散会となりました。



## 関西支部総会 報告

5月20日(日)午後1時より大阪梅田、アクティ大阪、月日亭にて出席者9名で行われ本会からは鳥居会長、三好副会長が出席しました。

平成18年度決算報告を承認の後懇親会にて自己紹介を改めて行い、席上、滋賀トヨベツ取締役 山中正英氏(S62年卒)の、郷土の誇り

「浅井長政」著書出版の紹介があり、時代の英雄話に場が盛り上がり、また鳥居会長より改めて在校生支援基金の寄付依頼願いがありました。関西支部の米崎会長、佐久間事務局長に心から感謝申し上げ、報告とさせていただきます。



## 白山支部総会 報告

昨年9月に設立されました白山支部は、今開始の定期総会を迎えることになりました。

10数名から始まった「絆の輪」も現在60名を数えるまでに広がり、今年9月には設立1周年を記念して講演会を開催したいと企画しております。

去る5月26日の総会当日は、泉支部長のご挨拶、鳥居会長からの来賓ご挨拶そして昨年度決算、今期計画・予算の承認がなされ、新たな活動が始まりました。

総会後の懇親会では、アットホームでなごやかな雰囲気の中、自己紹介の後、学生時代の思い出話や近況報告に花が咲き、年代を超えて親睦を深めることができました。

## 富山支部総会 報告

富山県で昨年の11月25日に射水支部が設立されました。これは一県一支部制の中で規則に反することですが、とりあえず小さな地区から声をかけ友人を集い大きな輪に広げていきたいと思う観点からスタートしました。総会には本部より鳥居会長他、事務局として同窓生三十名の出席をいただき懇親を深めました。今後は役員会と今秋には総会を予定しています。今日の自分を育んでいただいた金沢星稜大学に感謝し互いに情報交換したり、若き日々の思い出や近況を語りたいたいと思っております。



## 経済学部二部 ご支援のお願い

二部・大学院課 長久保 実

本学には、多様な動機と目的を持つ学生が学ぶという意欲を持つ社会人のための学部として夜間部(経済学部二部)が設置されており、現在も様々な経歴を持つ学生の自らのライフスタイルに合わせた学びの場を提供し続けています。

しかし、近年の少子化や経済環境の変化は、夜間部での学生の減少を招き、この3年間は30名の定員すら確保することが困難な状況に至っております。平成17年度からは各自の登録単位数に応じて授業料が決まる「単位数制」(1単位1万円、卒業までに124単位の単位修得が必要)を採用し、また、9月後期入学という制度を本年度から実施することにより学びやすい環境の整備に努めております。

ぜひ身近に学びの意欲をお持ちの方がいらつしゃいましたら、金沢星稜大学二部の存在をアピールしていただければと思います。

なお、パンフレット等の請求や詳細については、二部担当課がございますのでお気軽にお問い合わせください。



2008年 春風が初夏の風が変わる頃、  
装い新たにホテル金沢の誕生です。  
皆様をお迎えし、皆様の笑顔が溢れるホテルとなるよう  
鋭意準備を進めております。  
いましばらくご迷惑をおかけいたしますが、ご期待ください。

**ホテル金沢**  
HOTEL KANAZAWA

■ホテル金沢開設準備室■  
〒920-0852 金沢市此花町7-8 カーニブレイス金沢第二ビル3F  
TEL 076-223-1111 / FAX 076-223-1110

(完成予想図)

平成18年度 在校生支援基金の協力者名簿

- 高12 堀大 大明11 山藤10 宮島9 谷松 辻瀬寿8 得神7 杉6 西北 岩泉5 松島北4 若徳崎小3 藤中石2 森三 鳥土 高中 加勝 小安 二部1期  
 田期 野野石期 本沢期 腰村期 内浦井戸時期 能野期 本期 川川倉期 嶋崎村期 林野田嶋期 田村川期 好居谷橋田納木川藤部1期  
 裕敏千雅 健秀 雅明 邦一美 荷孝 隆一和清良 洋啓雅正一秀太 研賢邦隆洋義 寿一茂隆治雄一介昭至
- 34大 33中 32中 福西竹 鶴青31 青30 割29 門佐27 細島25 松小 小23 水高相22 村21 武18 山架橋17 益津沢河16 松大 15期 西鈴 奥天 14 榊小 13  
 期和 期川 期田 村内 銅山 期島 期山 期名 藤 期川 田 期村 山 杉 期野 谷 正 伸 慎 正 昌 秀 佳 広 孝 一 淳 郎 一 之 和 満 司 時  
 慎 欣 知 啓 吉 孝 宏 重 恵 裕 大 正 伸 慎 正 昌 秀 佳 広 孝 一 淳 郎 一 之 和 満 司 時
- 小32 西26 園25 西21 杉20 奥19 根新17 小16 山14 松14 西8 園鍛6 村野4 中寺 寺3 藤玉 田北 大2 広大 二部1期 西高 36 島35 小大  
 舟期 部期 部期 期本 期谷 期井 保 期幡 谷 期下 外 期出 藤 治 松 田 期村 田利 成 一 清 洋 秀 明 巖 人 久 樹 俊 司  
 章 秀 和 忠 欣 隆 裕 嘉 卓 弥 一 夫 一 夫 一 隆 清 子 秀 司 宏 之 晟 行 明 巖 人 久 樹 俊 司

**在校生支援基金のお願い**

平成18年度在校生支援基金は多くの皆様の温かいご支援のもと、1100件、412,000円のご寄付を頂きました。大変ありがとうございました。在校生支援基金は、在校生の皆様のスポーツ文化、社会活動、留学生交流などにますますの活躍を期待し、物心両面から強固な支援をすることを目的としています。つきましては、平成19年度におきましても、昨年同様、在校生支援基金に同窓会会員皆様のご賛同、ご協力を頂きたくお願いいたします。

在校生支援基金(1口) **2,000円** (1口以上何口でも可)

**在校生支援基金の成果**

平成18年7月28日「在校生支援基金」100万円を本学に寄付いたしました。

寄付金の100万円は各ゼミにおいて「ゼミ旗」を作成し、ゼミナール大会や流星祭、その他学外研修に使用していきます。各ゼミ、個性ある様々なゼミ旗が完成しました。今後ゼミナールのシンボルとして後輩達にも引き継がれ、有効に活用されることとなります。



建物に明るさと表情を与え  
 硝子建材を通じて社会に奉仕する!!

<営業内容>  
 建築用高級硝子・工事施工・店舗企画・自動車用硝子全般

明るく豊かな暮らしのプランナー **GLASS 室野硝子株式会社**  
**MURONO GLASS CO.,LTD.**

本社/金沢市堅町21番地 TEL. 076-262-0161(代) FAX. 076-221-2310  
 営業所/野々市本町1-7 TEL. 076-248-0327(代) FAX. 076-248-2103

# 地域社会に貢献するサッカー部に。



金沢星稜大学  
サッカー部監督  
小松崎 保  
元Jリーガー

1993年からJFLの富士通（現川崎フロンターレ）、2000年にはコンサドーレ札幌、2001年からは横浜FCでDFFとして活躍した元Jリーガー。現役時代は、怪我に悩まされましたが積極的に堅実な守備と持ち前の俊足で超攻撃的なセンターバックとして活躍した努力と根性の人です。現役引退後、北海道で指導者として歩き出した当初は、現役時代とのギャップに悩んだこともありましたが、試行錯誤しながら小さなことから改革を行い、チームの士気と結束力を高め、同時に自分の指導者としての経験を積みながら選手と一緒に成長してきたといえます。



## 監督の思い

金沢星稜大学サッカー部は、社会に認められるチーム・人物を目指しています。チームワークがよいだけでも、強いというだけでも認めてもらえません。見た目も学生としての中身もチームも社会に認めてもらいたい。そのために、チームには5つの規律があります。

- 1 礼儀・礼節
  - 2 時間を守る
  - 3 人の話を聞く
  - 4 ビアス・ネックレス・茶髪禁止
  - 5 タバコ禁止
- つまり、当たり前前のごとを当たり前にするという事です。色々なことに気づき、また感じ、自分がしてもらったら嬉しい事を仲間にしてあげる。仲間を助け、自分も助けてもらい、みんなでボールを奪い、みんなでゴールする。これがサッカーには必要です！社会に出ても必要だと思っています。大学は何をするにも自分で考えて、選択して、行動するところです。自分ですること自分で責任をとる。



サッカーも同じです。ここで、サッカーと勉強にコミットして、プロセスを作ってほしい。プロセスがあれば達成感も大きいと思います。金沢星稜大学でサッカーを4年間続け、全国大会に親や彼女を招待してあげてほしいと思っています。



金沢星稜大学  
サッカー部キャプテン  
赤地 信彦

大学サッカー部キャプテン  
赤地信彦君からみた小松崎監督

小松崎監督は、情熱的な人で努力家であり日々勉強をしている人、意志が強く中途半端なことが嫌いな人、気配りがあり相手の気持ちを考えて常に行動している人、という印象があります。

また、視野が広いので悪いことをしている人にも目がいき、相手が納得するまで自分の意見を言うところがあり、収まりがつかないことも多々あります（笑）。



明るく場の雰囲気をよくするのが好きな人で、チーム・家族思いのとてもすばらしい監督だと思っています。（※奥さんと子供がいるためなかなかハメをはずせない一面もあるのかもしれないですね）

大学サッカー部のホームページアドレス  
<http://www.seiryu-u.ac.jp/es/soccer/>

服も時計も靴もバッグもアクセサリーも自由に選びたいから、支払い方法も自由に選びたい、ってわがまま？

**e-Collect**

e-コレクトは、現金でのお支払いはもちろん、デビットカード、クレジットカードも使える代金引換サービスです。お客様の目の前でカード決済を行いますので、とっても安心！インターネットでの通販事業に“お支払い方法を選ぶ自由”をプラスするe-コレクトを是非ご指名ください！

**佐川急便株式会社**

TRANSPORT COMMUNICATION  
**SAGAWA**

※分割払い、リボ払いなどは、ボーナス一括払いのご利用にのみ対応しております。お申し込みの際は、お申し込みの条件により、サービスが利用できない場合がございます。また、電機店などにより、カードが利用できない場合がございます。

# 人間科学部へ、ようこそ。

## 人間科学部の紹介

### 学部長ご挨拶



金沢星稜大学 人間科学部 部長  
宮崎 正史

本年四月に人間科学部が始動致しました。こども学科40名、スポーツ学科60名からなる学部です。人間科学部は、人間の知能・心・身体の総合的な発達と能力の開発に関する科学的な教育・研究を通して、社会や地域に貢献できる人材を育てて行きます。そのため学生には、「人間を探索し、人間が持つ無限の可能性を発見し、人間に対する理解と洞察を深め、自らの人間力を高める」という志を求めてまいります。

こども学科では、小学校教諭免許状1種及び幼稚園教諭免許状1種を共に取得することを原則としています。少子化の時代にあつては幼児教育、児童教育という垣根を越えて、様々な能力が開花する最も重要な1〜12歳という時期を一貫する、「こども教育」が必要と考えられています。旧大講義室Aを全面改装して新たに作られたヒアツア工房（表現工房、実験工房、創作工房、遊び工房からなる）が、こども学科の実践活動拠点になります。

スポーツ学科は、人間の営みとしてのスポーツを科学的に探求し、心身の仕組みと機能を自らの心身で学ぶことを通じ、豊かな知性と人間性を備えた「スポーツリーダー」を育てます。スポーツ学科では学びの分野として「スポーツ教育」、「スポーツマネジメント」、「スポーツアスリート」の3分野を用意し、スポーツに関するあらゆる学びと実践が可能になっています。すなわち、運動の苦手な人も、障害のある人も、またトップアスリートも、スポーツが好きであることを通じて共に学べるカリキュラムになっています。



人間をより深く追及し、理解する人間科学は、これからの社会で重要視される分野

ラムになっています。



こどもの視点から、人間を学ぶ。

現在人間科学部で96人の学生が元気に学んでいます。学内の雰囲気も少し変わってきました。これまで経済学部を持つ単科大学として人材を育てて来た金沢星稜大学が、経済学、経営学とは異なるディシプリン（教育学、スポーツ科学）を持つ人間科学部が誕生したことで、名実共に総合大学、すなわちユニバーシティとしての歩みを開始することになったといえます。

金沢星稜大学の更なる発展と飛躍のために、経済学部とともに有為な人材の輩出に尽力致します。ご声援ください。

a v i c studio

株式会社 アビックスタジオ金沢

〒921-8002 金沢市玉鉾2丁目502番地 エーブル金沢ビル7F  
TEL 076-292-0411 FAX 076-292-0413